

# 川越ロータリークラブ 会報 No.17



2024年10月29日 第3500回例会 会場：川越プリンスホテル5階

会員数：102名 免除出席者：2名 正会員出席者：49名 出席者：51名 早退：0名 出席率：50%

## プログラム

点鐘（12：30）／ロータリーソング（第5例会：手に手つないで・R-O-T-A-R-Y）／ビジター・お客様紹介／卓話講師紹介／会長の時間／幹事報告／委員長報告／ニコニコボックス／出席報告／卓話／点鐘（13：30）〈司会：八木SAA〉

### 《卓話講師紹介》

青木啓史様

（株）西武HD経営企画本部西武ラボ課長補佐  
岩崎伸一様 （株）ブルーミューズ 取締役  
浅見琴葉様 川越プリンスホテル  
（プロフィギアスケーター）

## 会長の時間



### 2024-25年度 会長 西川 孝博

本日は「四つのテスト」の由来についてお話ししたいと思います。

（1）経営危機から生まれた「四つのテスト」

ハーバート・テラーは、倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の再建を託され同社社長に就任しました。テラーは、クラブ・アルミニウム社を立て直す手段として、社員に倫理的な価値観の目安になる指針が必要と考え「四つのテスト」を示しました。当初は、弁護士から四つのテストは実行不可能の指針であると言われておりましたが、取引先や従業員の間でクラブ・アルミニウム社に対する信頼感と好感が生まれ、業績改善に大きく寄与しただけでなく社風にもなってきました。1937年までに借金は完済され、その後株主に多額の配当金を分配するまでになりました。

た。このようにして四つのテストが誕生しました。

（2）「四つのテスト」を取り入れたロータリー  
1939年、ハーバート・テラーがシカゴ商工会議所で四つのテストも話しを披露した際、会合に参加していた会員からロータリークラブに四つのテストの話しがもたらされ、1942年国際ロータリー理事リチャード・ベナー氏から国際ロータリー理事会で四つのテストを取り入れるべきとの提案があり 1943年正式に採用されました。1954年～1955年度、ハーバート・テラーが国際ロータリー会長に就任した際には、四つのテストの著作権が国際ロータリーに寄贈されています。

（3）「四つのテスト」は現代社会でも機能する指針たりうるか

①真実かどうか：真実とは時代を超越するものです。②みんなに公平か：公平さを取り入れたビジネスは、競争でお互いの関係を損なうよりも、その関係性向上に役立つものです。③好意と友情を深めるか：人は生まれながらにして他人と協力し生きていく存在であり、好意と友情は生まれながらに備わっている本能です。④みんなのためになるかどうか：無慈悲で弱肉強食の競争を排除し、建設的で創造的なビジネス競争を導入するものです。ロータリーの基本理念の一つである四つのテストは、人生を成功に導くための要素を含み持っています。現代社会でも有効性を有すると共に実効性のある指針であると言えます。

（4）日本のロータリークラブでの事例

にわか雨に降られた通勤客に傘を貸し出すプロジェクトが立案されました。借りた傘を返してくれるだろうかの疑義に対して傘の内側に四つのテストを印刷して貸し出したところ、全て

の傘が返却されたという結果になりました。四つのテストが社会においても受け入れられたということが実証された例です。

## 幹事報告

**2024-25 年度 幹事 齊藤 智**  
・配布物 会報、腎アイバンク広報誌、プリンスアイスワールド東京公演チラシ  
・11月例会よりネクタイ着用をお願い



・次週卓話：京野青少年奉仕委員長

星野高校インターアクトクラブより顧問の先生2名と新部長、新副部長の生徒2名の4名で活動報告をしていただきます。

## ニコニコボックス

水村会員

●卓話講師、(株)西武HD経営企画本部西武ラボ課長補佐 青木啓史様、(株)ブルーミュージック取締役 岩崎伸一様 プロフィギアスケーター 浅見琴葉様 本日は宜しくお願ひします。(会長、幹事)

●11月からの例会はネクタイ着用です。ご協力お願ひします。(会長、幹事)

●本日の卓話講師、青木啓史様より駅のリデザインによる地域貢献についてお話しいたします。アイスショーのチームである岩崎さん、浅見さんと共に宜しくお願ひ致します。(津田)

●津田会員、本日の卓話宜しくお願ひ致します。講師の青木様、岩崎様、浅見様デザインによる地域貢献のお話し楽しみにしております。(神谷、野溝、相原、坂口、小川、小橋、近藤、和田(尚)、水村、久保田、高橋(哲)、藤井、山田(和)、古尾谷、和田(喜)、小杉、小高、中野(文)、上原、吉澤、町田、馬場(常))

●10月は例会を3連続欠席でした。悔い改めます。(藤井)

●秋深し隣りは何をする人ぞ(西澤)

合計35,000円

## 卓話

(津田会員ご紹介)

○「駅のリデザインによる地域貢献」

(株)西武HD 経営企画本部 西武ラボ

課長補佐 青木啓史様

(株)ブルーミュージック取締役 岩崎伸一様

川越プリンスホテル宿泊フロント担当

(プロフィギアスケーター) 浅見琴葉様



青木様：駅のリデザインとは駅を新しい価値を生む場所であったり、駅を目的地にする場所にして駅のデザインを変えていくということです。改めて西武グループを紹介させていただきます。

西武プリンスホテルワールド(ホテル)・西武リアリティソリューションズ(不動産)・西武鉄道と3つの中核事業会社です。また、不動産を中心に鉄道の沿線価値を向上させたり、アイスワールドと連携、横浜アリーナやライオンズのスポーツエンタメ事業とも連携し事業を組み立てたりという中期経営計画を発表しております。

「お出掛けするなら西武」とお客様に言っただけの事を目指し、かけがえのない空間の時間を創造していきたい事業計画です。西武ラボは、西武HDでの新規事業を司りリソースする部門、14名のそれぞれバックグラウンドを持つメンバーで構成されております。(青木様は西武鉄道出身)例えば、ペットサロンのDX、アウトドア(キャンプ、バーベキュー)、フラワーキャンドル(ホテルの結婚式で廃棄される花を再利用)、タバコの自販機を再利用してChabacco(チャバコ、お茶のお土産)、子育て支援につながるサービス(本川越駅の保育施設で一時保育が可能)、スマホで注文し駅のロッカーで受け取れる等です。また、地域を盛り上げるサービス(BOPISTA)を展開中。全体的に持続可能で住みやすい街作りを西武グループ全体で取り組んでいきたい。

岩崎様：

プリンスアイスワールドを運営。昨年、多くの皆様



にお越しいただきましたこと御礼申し上げます。今年も特別料金のご案内させていただきますので、お申し込みの際は津田支配人までお願ひします。

浅見様：

昨年のアイスショーにお越しいただきました皆様、有難うございました。今年もプリンスアイスワールドが記念すべき45周年です。今年もお待ちしております。